

観光資源同士に血 管を通す

交通インフラ班

富山県の特徴

- 観光地が偏在している。
 - 主要駅間の交通は充実している。
 - 都会では経験できないことに満ちている。
 - 車社会である。
 - 典型的な高齢社会である。
-

提案内容

観光地と観光地をつなぎつつ地元の人も常用するよ
うな周遊バスの運行。

目標

観光地と観光地との間の交通の改善

交通インフラの本来の役割であるべき生活の基盤という役割を果たし地元の方々の生活に欠かせないものにする。

観光客の方々に主要観光地だけではなく富山県らしい生活感も味わってもらえるような路線作り。

課題

市と市との連携の向上（各々の市でメリットを得られるような構造づくり）

地元の方の生活に定着させるには時間がかかる。

需要の調査、如何にして採算の取るか。